



月ヶ瀬公民館だより

公益財団法人奈良市生涯学習財団
月ヶ瀬公民館
奈良市月ヶ瀬尾山 2815
電話・FAX:0743-92-0346
発行人:館長 藤田美佳

春分

「光陰矢の如し」といわれますが、昨年4月に異動で月ヶ瀬に戻ってから、1年があっという間に過ぎました。今年度をふりかえると、図書室については、毎月定期の夜間開室と終業式の日の夜に設定したこどもむけ講座、そして ONOONO の地域おこし協力隊と連携した夜の読書会講座（令和7年度も継続し、毎月開催）など 月ヶ瀬公民館の施設と蔵書を活かした新たな取り組みを開始することができました。ひとりでも多くの方に公民館を活用していただけるよう、新年度も魅力的な講座で、学びの機会を充実させていきます！

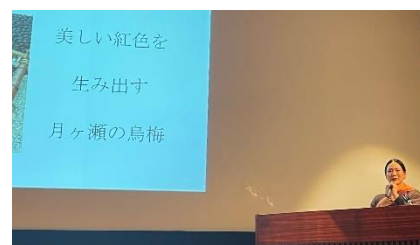
新企画として、4月から3ヶ月連続の映画上映会（月ヶ瀬名画座：詳細はチラシをご覧ください。）や、お出かけ公民館（出前講座）などを予定しています。

一方 館内の設備については、ロビーのソファの配置を変更しました。仲間同士での語らいや、外出中にちょっと腰掛けたいなと感じたときの休憩場所としてご活用ください。また奈良市フリーWi-Fi（インターネットへの無料接続）を利用する際に、テーブルを広く使っていただけるよう、チラシの展示スタンドを用いて整理しました。さらに、地域の文化・伝統の継承の展示については、月ヶ瀬奈良晒保存会の40周年事業として、月ヶ瀬文化祭の際に展示を整備していただきました（ロビーに案内板の掲示・小冊子の配置、2階ガラスケース内に工程や作品などの展示）。月ヶ瀬を訪れた方を案内する場として、日頃からくつろげる日常使いの場所として、地域のみなさまに活用していただけるよう工夫していきたいと思っています。「こんなことをしてみたいな」、「あんなことも知りたいな」そうしたご意見をお気軽に職員までお寄せください。ご意見箱も設置しています。

◆こんな講座がありました！◆

「美しい紅色を生み出す月ヶ瀬の烏梅」 2月22日

染色家で「染司よしおか」六代目の吉岡更紗さんによる講演会を開催しました。この企画は、「月ヶ瀬梅林」が国の史蹟名勝指定から100年を迎え、2022年の第13回全国梅サミット（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）が、月ヶ瀬公民館を会場に開催される予定であった際の内容です。月ヶ瀬梅溪保勝会との共催で、会長のご挨拶で開会しました。



烏梅の歴史や染色についてわかりやすく解説してくださり、「伝統工芸の保存、努力に感銘を受けた」との感想がありました。2015年には五代目吉岡幸雄さんが、当館で講演をなさっていたため、10年の時を経て、文化・伝統の継承に関わる講話を聴くことができました。雪がちらつくなか、市内はもとより県内各地、大阪や伊賀からの参加もありました。

プチ田舎暮らし・紅花染 2月26日

かねてから要望が寄せられていた紅花染を、烏梅庵を会場に開催しました。講師は辰巳洋子さんです。丹念に下準備した紅花と烏梅を用いて、染色剤を作りました。そして、美しい紅花染のストールが完成すると、歓喜の声が上がりました。出来栄えに大満足の笑顔で終了でした！



プチ田舎暮らし・月ヶ瀬茶 3月4日

毎年恒例の月ヶ瀬茶講座ですが、今回は（株）ティーファーム井ノ倉「shop 粋翠」が会場で、講師は井ノ倉光博さんです。土づくりや茶葉をブレンドしないシングルオリジン（単一畑）の茶づくりのお話などを伺いました。そして、かぶせ煎茶・和紅茶・焙煎かりがね茶を、奈良のお菓子に合わせて味わう趣向です。煎れ方は、まさに目から鱗！新たな学びでした。東大寺修二会（お水取り）の時期でしたので、糊こぼしの椿を模した生菓子や、焼菓子、お干菓子 それぞれのお茶と絶妙の組み合わせでした。



月ヶ瀬歴史探訪 3月6日



毎年恒例の本講座ですが、例年は館外を散策する内容が続いていましたが、今年は館内での学習です。講師は、月ヶ瀬ボランティアガイドの会代表の稲葉耕一さんです。昨年発行された冊子『月ヶ瀬梅溪復興の村長「農村更生の神様」小西徳治郎』（月ヶ瀬の歴史を学ぶ会）を用いて、小西元村長の生涯をふりかえりながら、月ヶ瀬の歴史を学びました。2022年に「月ヶ瀬梅林」が国の史蹟名勝指定を受けてから100年を迎え、この先の100年 未来を考えた学びの上で、歴史を振り返るのはとても意義深いことです。受講者からは「わかりやすい講座で、月ヶ瀬の文化・歴史がよく分かった」、受講者の一人であった徳家眞さんが月ヶ瀬小唄を披露してくださり、「月ヶ瀬小唄がとても楽しくよかった」との感想もありました。

終了後は、講師の厚意により、希望者で梅林の散策をしました。



□■□ 今後の主催事業 □■□

夜の図書室～読むを語る・読むとつながる

令和7年4月4日（金）午後7時～8時30分

開催日：原則第1金曜日、ただし5月と1月は第2金曜日

会場：偶数月は公民館図書室、奇数月はONOONOで行います。

4月以降も毎月開催します。
お気軽にお越しください！



はる！ おはなし会 令和7年4月16日（水）午後2時45分～午後3時45分



事前の申し込みは不要です。当日直接お越しください。

【令和7年度の予定】

なつ！おはなし会：7月16日、あき！おはなし会：10月15日、クリスマス！おはなし会：12月17日



図書室だより



夜の図書室④ 3月7日 会場：ONOONO

今回のテーマは、フリーペーパーです。講師の森本康平さん（ローカルコープ大和高原・地域おこし協力隊）から、ONOONOの電気代の一部をフリーペーパー発行会社に寄付し、一定の金額に達すると、各地のフリーペーパーが送られてくる仕組みを活用した事業についての紹介がありました。

その後多種多様なフリーペーパーの中から参加者が3冊ずつ選んで、それぞれが感じた事を語り合い・聴き合いました。■参加者の感想：「自由に話せて（きけて）緊張せずにいられた」「久々に温かくて、ゆっくりとした時間を過ごした」「本が好きな人が集まっておられるからということもあり心の平安をとりもどせたような気がしました。またぜひ!!」



移動図書館をご利用ください！

- ★1か月、1人10冊
- ★市立図書館蔵書のリクエストが可能。
- ★インターネットで予約して、移動図書館で受け取れます。



月ヶ瀬俳句会（二月）	
春霞大和の国をま平に	由姫子
春禽や遊具もち出す保育園	和代
椎茸の原木流す雪斜面	新哉
梅香る窓に機織る母の音	定代
一陣の風のゆるぎや梅七分	かつ野
陽のやはら春の香りののぞきけり	ふみ子
野仏へ小銭一枚梅ふふむ	ちず子
老梅の龍となりゐて天を衝く	豊美
蒼天へ千古の梅の香り継ぐ	節子
梅つぼみ疾く咲け咲けと鳥が急ぐ	利明
探梅や慣れたシューズと万歩計	繁夫
まつすぐに水脈を残して鴨の湖	旅人
ニノ月は風の音まで輝けり	朋子
金封に寿ぎの文字風光る	知里
苔梅や旧家の屋根に煙出し	すま
煌めいた湖面に映える梅の紅	卓
冴えわたる真青の空に風の声	白鯨
紙風船つけば空の青く揺れ	ますみ

次回 4月18日
（金）
午後2時50分～
3時30分

奈良市生涯学習財団 <https://manabunara.jp/>
公民館だよりバックナンバー（既刊） 施設紹介→月ヶ瀬公民館→公民館だより

